

# 学校だより



へんしゅうぶれんらくさき\*  
\*編集部連絡先\*

〒257-0025 秦野市落合500

TEL 0463(81)1429 FAX 0463(83)4118

ホームページ

<http://www.hadano-sh.pen-kanagawa.ed.jp/>



「地球の不思議から」

きょうとう 小間屋 統



今年も早、半年が過ぎました。丹沢の緑が映え、夏の始まりが感じられます。世界の状況は、不穏な状態が続いていますが、子どもたちの笑顔が見られることに、ありがたさを感じています。

さて、世界といえ地球、今回は地球について思いを馳せたいと思います。

ご存知の方もおられることと思いますが、24時間で1周を回る地球の自転は、音速より速く（赤道付近で約1,700km/h）、365日かけて太陽の周りを回る公転は、ロケットのスピードの2.5倍以上（約108,000km/h）と図書室の事典で知り、驚きました。普段全くスピードを感じられないのは大気のお陰なのです。

なお、科学者が今まで発見している銀河（地球があるのは銀河の一つ“銀河系”）は約2兆個あるようですが、生命があるのは、今のところ地球だけです。時々地球のスピードをイメージしながら、いつか別の生命体の発見に期待したいものです。

ひとつしかない特別な地球の中で、子どもたちが幸せに過ごせるよう、関係する全ての皆さまと、引き続き力を合わせていけたらと思います。どうぞよろしく願いいたします。



## はたようさいじき 秦養歳時記

きょうとう あさくら 久美子  
教頭 朝倉 久美子

4月初旬は少し肌寒い日々が続き、3月末から咲き始めた桜も思いのほか長く咲いていました。あれから梅雨の季節に入り、今では紫陽花がきれいに咲いています。鬱陶しい雨ですが、植物の成長には欠かせないものです。この時期、それぞれの部門課程では、大きさこそ色々ではありますが、畑やプランターにトマトやナス、きゅうりやじゃがいもの苗が植えられ、毎日子どもたちが世話をしながら、花や実がなるのを楽しみにしています。

植物が成長するためには土の栄養だけでなく刺激が必要だと聞きます。刺激とは温度、湿度などのほか、光や空気なども含んでいます。植物はそうした刺激を敏感に感じ取りながら成長していきます。つる性の植物は何かに触れるという刺激によってつるを巻いていくそうです。重みも重要で、地球に引っ張られる力を感じて根はその方向に、芽はその逆方向に伸びていきます。

先日、E高等部に来ていただいている農業指導員さんからゴーヤの種をいただきました。ゴーヤの種は固いので少しだけ端をカットしてあげると芽が出やすいと教えていただきました。卵から生まれる雛とは違いますが、頑張って芽を出そうとしている様子を想像すると少しワクワクしませんか。今その種から芽が出てきています。夏にはきれいなグリーンカーテンになるといいですね。

さて、秦野養護学校の子どもたちですが、すっきりしない天気の日でもパワフルに学習活動に励んでいます。4月に戸惑いや不安を感じ、俯き加減であった人たちも、友だちや先輩の様子から多くの刺激を受けて成長しています。そして先生方も子どもたちから多彩な刺激を受けて、次の授業のアイデアを膨らませています。刺激の連鎖がこちらこちらで花を咲かせています。キラキラな夏が間もなくやって来ます。



D



今年の基礎1クラスは、小学1・2年生5名でスタートしました。  
新しい環境に戸惑いながらも、楽しく元気に学習しています。

写真は、「5月」をテーマに、生活・図工で取り組んだ作品です。  
背景の空は、青、水色、白銀の絵の具を長い柄のローラーに1色ずつ  
つけて、模造紙2枚分の大きさの紙を5人で協力して、色を塗り、色  
の重なりを楽しみました。こいのぼりは、折り染めの技法を用いて染  
めました。音楽の時間には、曲に合わせて思い思いに、こいを泳がせ  
て楽しみました。

このこいのぼりのように、それぞれのカラーを大切にしながら、大  
空を悠々と泳いでいきたいです！



E

### 「校外・校内実習がはじまりました！」

高等部では進路に向けての実習がはじまりました。それぞれが目標を決め、実習にのぞんでいます。  
学校では友達同士で実習についての話をしたり、事前学習で何を頑張るのかを考えたりして備えていま  
した。不安や緊張があるかと思いますが、これまでやってきたことを糧にして自信をもって頑張りたい  
と思います。

校内の実習では、1～3年生までが縦割りでスタンレー班、リンレイ班、CD、アラミド班に分かれ、実習  
を行っています。1年生にとってははじめての実習ですが、  
先輩の頼もしい姿を見て一生懸命に取り組んでいます。

2、3年生はこれまでの経験を活かしてさらにステップアップ  
ができるように頑張っています。自分たちが将来、「社会人」  
になるために2週間でたくさんの力をつけてほしいと思  
います。



F

F末広は、秦野市立末広小学校の敷地内にあるという特徴を  
活かして、小学生との交流の機会を持っています。

5月には、末広小の1年生3クラスが「学校探検」でF末広を訪れ、  
窓越しではありますが、「よろしくねー！」と声をかけあいました。  
事前にクラスごとに、大きな紙にスタンプをしたり、色を塗ったり、  
紙を貼ったりして作った「末広小よろしくね」のメッセージで  
迎えました。当日は、1年生の「わー！」の歓声に、  
張り切って手を振る人もいれば、少しびっくりする人もいました。  
同じ敷地内にある学校なので、これからもいろいろな交流  
を重ねていければ、と思っています。



末広小学校の廊下からよく見えるように、大きく  
「末広小よろしくね」の紙を貼りました。

